

## 案件概要表

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	ガーナ共和国
2. 案件名	アッパー・マニャ・クロボ郡における若者の性と生殖に関する健康（SRH）サービスの利用促進プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	<p>事業対象地域であるアッパー・マニャ・クロボ郡は、10～19歳の女性の妊娠率が全国平均や事業対象郡が位置する東部の州平均に比べて高いという問題を抱えている。</p> <p>10代の妊娠の約半数は意図しないものであり、安全でない中絶を選択してしまうリスクも高いうえ、10代の妊娠・出産は合併症を起こしやすく、妊産婦の疾病率や死亡率を高くしている。また、10代の母親から生まれた子どもは新生児死亡や疾病のリスクが高いことが知られている。さらに、10代での妊娠は女子たちの教育や職業選択の幅を狭め、貧困に陥りやすくなることに加え、18歳未満で妊娠した女性は、パートナーとの関係において暴力にさらされる可能性が高いと言われている。</p> <p>若い女性の望まない妊娠を防ぐためには、女子のみならず若者たち自身が妊娠の予防法など正しい知識を身につけることが重要である。また、若者が大人や周囲の目を気にせず、ためらうことなく性と生殖に関する健康（Sexual Reproductive Health、以下SRH）サービスを利用できるよう、親や教師、地域の伝統的指導者など、若者を取り巻く大人が正しい知識を持つことや、精神的サポートを含む社会的体制づくりが不可欠である。併せて、若者が利用しやすく質の高いサービスが提供できるよう、保健医療従事者側のSRHに対する意識・態度の向上・変化なども重要である。</p> <p>本事業は、若者自身のSRHに関する正しい知識の習得や、若者が質の高いSRHサービスを利用できるよう医療従事者や周囲の大人を含む地域全体の人々の意識・行動変容を促し、若者の望まない妊娠を防止し、若者たち、特に女性たちがその能力を最大限に発揮できる社会の実現に貢献することを目指す。</p>
4. プロジェクト目標	若年によるSRHサービスの利用が増加する
5. 対象地域	ガーナ共和国イースタン州アッパー・マニャ・クロボ郡、アセセワ、アカテン、アニャボニ亜郡
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	対象地域人口41,619人（10-19歳の若者7,491人を含む）
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p>&lt;アウトプット&gt;</p> <p>1. 若者と大人が、若者の性と生殖に関する健康と権利（SRHR）について知り、SRHサービス利用に対する意識が変わる</p>

	<p>2. 質の高い若者向け SRH サービスが強化される</p> <p>3. 若者の SRHR 推進活動を地域全体が継続的に取り組むようになる</p> <p>&lt;活動&gt;</p> <p>1. 若者、大人、教師、伝統的リーダーから啓発を行うボランティアを養成し、養成されたボランティアが地域住民に対して SRHR に関する啓発活動を行い、意識・行動変容を促す</p> <p>2. 質の高いユースフレンドリーな SRH サービスの提供を目指して、保健医療従事者を対象とした、若者への待遇改善のための研修を行う。また、ボランティアが避妊薬・具を配布できる仕組みを作り、避妊薬・具へのアクセスポイントを増やす。ボランティアへの SRH および啓発活動に関する技術指導を行えるよう保健医療従事者の能力強化を行い、ボランティア活動の継続と質の担保を行う</p> <p>3. 地域の保健課題に取り組む役割を担う地域保健委員会を設置・再設置する。委員会が機能するための簡易ガイドを作成し、彼ら自身で活動計画の策定・実施・財政管理をするための PDCA サイクルにかかる能力強化のワークショップを実施する。これらを通して、地域保健委員会を若者の SRHR 推進計画を策定・実施・モニタリング・監督できる組織として強化する</p>
8. 実施期間	2024 年 1 月 ～ 2027 年 1 月 (3 年 0 ヶ月)
9. 事業費概算額	97,877 千円
10. 現地カウンターパート	アッパー・マニャ・クロボ郡保健局 (ガーナ共和国イースタン州)
<b>II. 実施団体の概要</b>	
1. 提案団体名	公益財団法人ジョイセフ
2. 活動内容	国内外でのセクシャル・リプロダクティブヘルス・ライツ(母子保健、家族計画、思春期保健、ジェンダー、女性のエンパワーメント等を含む)の推進を目的とし、開発途上国での地域展開型プロジェクト、教材開発・制作、JICA 課題別研修事業、各種政策提言、日本国内での広報・国内啓発・支援者拡大活動等を実施している